

環境会計(2013年度)

2013年度の投資額は、空調機器および工程系排水処理施設の更新、照明のインバータ化などを実施し、対前年度比34.4%の増加となりました。費用額については、公害防止コストとして2012年度臨時に計上した土壌汚染対策費用がなくなったため、8.0%の減少となりました。また、経済効果については、これまで計画的に実施してきた省エネ型の空調機への更新や毎年継続して行っている省エネ活動（クールビズ、ウォームビズ活動など）、製品の低消費電力化による効果もあり、18.9%増加しました。

●集計範囲：国内アンリツグループ

●集計期間：2013年4月1日から2014年3月31日

[]内の数値は、2012年度実績

環境保全コスト				効果		
大分類	中分類		投資額(百万円)	費用額(百万円)	経済効果(百万円)	物量削減効果
事業エリア内コスト	公害防止コスト(リスク対策含む)		3.3 [0.02]	22.0 [41.1]	149.4 [146.1]	
	地球環境保全コスト	温暖化防止	18.8 [17.0]	16.9 [12.3]	164.6 [135.7]	3,764 (t-CO ₂) [3,346 (t-CO ₂)]
		資源循環コスト	資源循環/活用活動		59.1 [62.4]	0.0[0.0]
			廃棄物処理費用		48.3 [50.6]	27.0 [12.2]
上下流コスト	グリーン購入/調達コスト			23.4[23.2]	56.6 [38.4]*	1,254 (t-CO ₂) * [1,076 (t-CO ₂)]
	環境配慮型製品設計			20.2 [22.3]		
	製品・容器包装などリサイクル、回収、処理			0.0 [0.0]		
管理活動コスト	環境教育/人材育成			20.3 [26.6]	3.7 [0.0]	
	EMS運用・維持、内部監査			45.2 [46.4]	3.1 [0.0]	
	環境負荷の監視測定コスト		0.8 [0.0]	19.2 [18.2]	1.4 [0.0]	
	環境保全対策組織の人的費用			6.2 [4.9]	0.0 [0.0]	
	緑化整備・維持			9.3 [9.8]	0.0 [0.0]	
社会活動コスト	地域・環境保全団体などへの支援			1.2 [1.2]	0.0 [0.0]	
	情報公開			9.8 [8.1]	0.0 [0.0]	
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発			0.1 [0.4]	0.4 [0.0]	
環境損傷対応コスト	環境損傷対応のためのコスト			0.0 [0.0]	0.0 [0.0]	
合計			22.9 [17.1]	301.3 [327.4]	406.4 [332.5]	
上下流コストを除いた合計					349.7 [294.0]	
前年度比			34.4%	-8.0%	18.9%	

※ 製品使用時における環境負荷抑制効果（みなし効果）削減電力：2,574 MWh [2,261 MWh]

アンリツグループでは、温室効果ガス削減の取り組みの一環として、省エネ型の設備への更新を順次実施しています。

2013年度は、厚木地区と東北地区で、以下の施策を実施しました。

【厚木地区：ターボ冷凍機の更新】

- 費用…9,100 (万円)
- CO₂削減効果…76 (t - CO₂/年)

【東北地区：空調機器の更新および照明のインバータ化】

- 費用…7,390 (万円)
- CO₂削減効果…16 (t - CO₂/年)



ターボ冷凍機